



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦
四半期報告書提出予定日 2023年2月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,170	9.2	821	225.8	929	156.4	757	207.3
2022年3月期第3四半期	21,219	8.8	252		362		246	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 750百万円 (13.5%) 2022年3月期第3四半期 661百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	128.08	
2022年3月期第3四半期	41.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	41,406	21,510	52.0
2022年3月期	41,578	21,085	50.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,510百万円 2022年3月期 21,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		35.00	35.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	10.4	750	0.2	800	8.6	650	8.5	109.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社テザック神鋼 ワイヤ
ロープ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,912,999 株	2022年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,228 株	2022年3月期	1,997 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	5,910,922 株	2022年3月期3Q	5,893,109 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の正常化の両立が進んだものの、国際情勢の悪化による資源価格の高騰や半導体をはじめとする各種資材の調達難、金融資本市場の変動等により、回復のペースは鈍いものとなりました。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に対する販売価格の改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めた他、在庫評価影響もあり、当期における連結業績は、売上高は23,170百万円と前年同期に比べ1,951百万円の増収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ821百万円（前年同期比569百万円の増益）、929百万円（前年同期比566百万円の増益）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は757百万円（前年同期比510百万円の増益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 主力分野の高速道路・橋梁等において、老朽化に伴う補修・補強案件が増加する一方で、P C鋼材の使用量の多い新設案件の減少、工事遅れの発生等があり、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

(ばね・特殊線関連製品) 主力分野の自動車需要において、半導体不足及び中国におけるロックダウンの影響により需要の低迷が継続し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

一方で、販売価格の改定に努めた結果、特殊鋼線関連事業全体で、売上高は12,373百万円と前年同期に比べ478百万円の増収となったものの、販売数量減少の影響が大きく、営業利益は59百万円（前年同期比364百万円の減益）となりました。

<鋼索関連事業>

足元の景気動向を反映して、国内外の需要の回復は鈍く、販売数量は前年同期に比べ減少しました。一方で、販売価格の改定により、売上高は9,447百万円と前年同期に比べ1,084百万円の増収となり、在庫評価影響もあり、営業利益は719百万円（前年同期は147百万円の損失）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

交通・環境分野及び建築分野向け案件が減少したものの、土木・橋梁分野向けの大型案件の納入により、売上高は1,304百万円と前年同期に比べ393百万円の増収となり、営業利益は6百万円（前年同期は64百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ44百万円、35百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、172百万円減少の41,406百万円となりました。これは主として電子記録債権の減少、原材料及び貯蔵品の増加によるものです。

負債は、598百万円減少の19,895百万円となりました。これは主として社債の減少によるものです。

純資産は、425百万円増加の21,510百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は52.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年11月7日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847	2,665
受取手形	523	480
売掛金	4,513	4,176
電子記録債権	4,702	4,001
商品及び製品	4,172	4,540
仕掛品	3,230	3,734
原材料及び貯蔵品	1,810	2,373
その他	827	621
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,626	22,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,852	2,758
機械装置及び運搬具（純額）	4,899	4,809
工具、器具及び備品（純額）	143	127
土地	5,869	5,869
リース資産（純額）	5	4
建設仮勘定	498	429
有形固定資産合計	14,269	13,998
無形固定資産	154	172
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584	1,734
繰延税金資産	987	912
退職給付に係る資産	1,708	1,768
その他	273	251
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,528	4,640
固定資産合計	18,951	18,812
資産合計	41,578	41,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,180	2,842
短期借入金	4,806	5,349
リース債務	2	2
1年内償還予定の社債	150	900
未払費用	958	1,060
未払法人税等	312	87
契約負債	74	67
賞与引当金	619	233
設備関係支払手形	13	-
未払事業所税	47	34
その他	586	484
流動負債合計	10,751	11,062
固定負債		
社債	900	-
長期借入金	4,367	4,201
リース債務	4	2
役員退職慰労引当金	10	2
環境対策引当金	45	29
退職給付に係る負債	4,289	4,472
その他	124	125
固定負債合計	9,742	8,833
負債合計	20,493	19,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	3,613	4,045
自己株式	△2	△2
株主資本合計	19,838	20,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	235
為替換算調整勘定	186	238
退職給付に係る調整累計額	855	766
その他の包括利益累計額合計	1,247	1,240
純資産合計	21,085	21,510
負債純資産合計	41,578	41,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,219	23,170
売上原価	17,792	18,987
売上総利益	3,426	4,182
販売費及び一般管理費	3,174	3,361
営業利益	252	821
営業外収益		
受取利息	35	42
受取配当金	43	41
持分法による投資利益	32	82
固定資産賃貸料	32	32
雇用調整助成金	93	-
その他	24	49
営業外収益合計	262	249
営業外費用		
支払利息	38	39
出向者負担金	38	36
固定資産廃棄損	29	23
その他	44	41
営業外費用合計	151	141
経常利益	362	929
特別利益		
投資有価証券売却益	-	123
特別利益合計	-	123
税金等調整前四半期純利益	362	1,053
法人税、住民税及び事業税	37	195
法人税等調整額	78	100
法人税等合計	115	296
四半期純利益	246	757
親会社株主に帰属する四半期純利益	246	757

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	246	757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	30
為替換算調整勘定	8	19
退職給付に係る調整額	526	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	7	32
その他の包括利益合計	415	△6
四半期包括利益	661	750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	661	750

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,894	8,363	911	21,169	49	21,219	—	21,219
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256	206	6	468	—	468	△468	—
計	12,150	8,569	917	21,638	49	21,688	△468	21,219
セグメント損益	424	△147	△64	211	40	252	—	252

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,373	9,447	1,304	23,125	44	23,170	—	23,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392	208	1	603	—	603	△603	—
計	12,766	9,655	1,306	23,728	44	23,773	△603	23,170
セグメント利益	59	719	6	785	35	821	—	821

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。